

テーマは 「安らぎ」 災害への備えについて考えます。

安らぎ通信 NO. 1

平成30年 **10**月の**安らぎ**通信

- (1)  南海トラフ地震の想定
- (2)  浸水想定域に住宅誘導 まち集約の自治体 9割で
- (3)  単1乾電池 品薄に 台風21号 停電の地域
- (4)  「巨大地震の巣」核心部に迫る
- (5)  エレベーター利用者の閉じ込め被害
- (6)  大阪北部地震での渋滞 発生3時間でピーク



(1) 南海トラフ地震の想定

死者・行方不明者	32万3千人	浸水域内人口	163万人
建物被害	238万6千棟	経済被害	215兆円
浸水面積	1015平方キロ	帰宅困難者	380万人 (中京・京阪神)

(2018年9月1日 日本経済新聞記事から抜粋引用)



(2) 浸水想定域に住宅誘導 まち集約の自治体 9割で

防災後手、計画の再点検を

- ・まちの集約計画を掲げる主要な自治体の約9割で、浸水リスクの高い地区にも居住を誘導。
- ・全国でコンパクトシティ形成をめざす「立地適正化計画」の策定が進んでおり、120以上の市町が居住を誘導する区域を設定しています。
- ・大阪枚方市は85%程度で1m以上、約6割で3m以上の浸水リスクがあります。

“たろうの店きごころ” 山忠木材株式会社
大阪市大正区千島3-18-9 TEL 06-6552-0781

テーマは 「安らぎ」 災害への備えについて考えます。

安らぎ通信 NO. 2

(2018年9月2日 日本経済新聞記事から抜粋引用)

(3) 単1乾電池 品薄に 台風21号 停電の地域

平時も流通少なく

- ・台風21号の影響で停電が続いた地域で、単1乾電池が品薄になっています。
- ・単1は対応する機器に限られ、単3や単4に比べて流通量が少なくなっています。
- ・2016年のアルカリ乾電池の生産量に占める単1の割合は全体の約10%。単3は約60%、単4は約25%でした。

単3を代わりに 布やアルミホイルを活用

- ・単1がない場合でも、単3に布を巻いて厚くし、電気を流すアルミホイルで高さを調節するなどして代用できます。
- ・単2や単3を単1のサイズに変換するアダプターも市販されています。
- ・単3で使えるLEDの懐中電灯を用意しておくなどの方法も。

(2018年9月14日 日本経済新聞記事から抜粋引用)



(4) 「巨大地震の巣」核心部に迫る

「ちきゅう」南海トラフ5200M掘削 ひずみ蓄積調査

- ・海洋研究開発機構は10月、巨大地震を繰り返し起こしてきた南海トラフの深部の探査を始めます。
- ・海底を深く掘削できる地球深部探査機「ちきゅう」を使い、海底5200Mまで掘り進みます。
- ・プレート境界部の巨大断層まで到達し岩石を集めるほか、ひずみの蓄積状況を調べます。
- ・巨大地震の核心部に迫る世界初の試みで、巨大地震や津波の発生メカニズムの解明へ期待が集まっています。
- ・地震調査委員会は、南海トラフ地震が今後30年以内に発生する確率を70~80%と予測。

“たろうの店きごころ” 山忠木材株式会社

大阪市大正区千島3-18-9 TEL 06-6552-0781

テーマは 「安らぎ」 災害への備えについて考えます。

安らぎ通信 NO. 3

(2018年9月17日 日本経済新聞記事から抜粋引用)

(5) エレベーター利用者の閉じ込め被害

南海トラフは2.3万人予想

- ・ 2009年改正の建築基準法施行令は、新設のエレベーターに「地震時管制運転装置」の導入を義務付けています。
- ・ 一定の揺れを感知すると、最寄り階まで移動して扉が開く仕組み。
- ・ 改正前に設置されたエレベーターには導入されていないことが多いのです。
- ・ 2018年3月末時点で全国約748,000台のうち、4分の1が未導入。
- ・ 大阪府北部地震では近畿5府県で300件以上の閉じ込めが発生。
- ・ 南海トラフ地震の被害想定は、全国で約41,900台が停止し、最大約23,000人が閉じ込められるとしています。
- ・ 揺れを感じてすぐに全てのボタンを押せば、近くの階で降りられることもあります。
- ・ 閉じ込められた場合は、無理に扉をこじ開けようとせず、外部に知らせることが重要。

(2018年9月18日 日本経済新聞記事から抜粋引用)



(6) 大阪北部地震での渋滞 発生3時間でピーク

最大20キロ 通常の7倍

- ・ 鉄道の運休や高速道路の通行止めの影響で一般道は車であふれ、地震発生から3時間でピークに。
- ・ 最も混んだ大阪中央環状線では約20キロと、前年同時期の約7倍の渋滞が起きました。
- ・ 大規模災害時に緊急車両の通行をどう確保するか、改めて課題を突き付けました。
- ・ 渋滞は地震発生直後から急速に拡大し、ピークは午前11時台。
- ・ 同日午後1時ごろから西日本高速道路の主要路線などの通行止めが解除され次第に縮小しましたが、一般道の渋滞が完全になくなったのは地震発生から約14時間後の午後9時台。
- ・ 普段現場に数分で着く救急車が渋滞に巻き込まれ数十分遅れるなど、緊急車両に影響が出た地域も。

“たろうの店きごころ” 山忠木材株式会社
大阪市大正区千島3-18-9 TEL 06-6552-0781

テーマは 「安らぎ」 災害への備えについて考えます。
安らぎ通信 NO. 4

(2018年9月20日 日本経済新聞記事から抜粋引用)